

## パネルタイプ(SPA) 取り扱いおよび設置説明書

このたびはスタイリストスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。  
お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

## 安全上の注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- ◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。



この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表示しています。



この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表わしています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表示しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表記しています。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表示しています。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

## 目次

安全上のご注意	1
本機の特長	2
仕様及び寸法図	3
スクリーン取り付け方法	4～5
スクリーン面の取り扱い方法	6


### ◆付属品


スクリーン本体の他に下記の同梱品が付属しています。取り付けの前に内容、必要個数が入っているか確認をしてください。

- A. 壁面取り付け金具 . . . . . 2個



- B. 取り付け用ビスセット . . . . . 1式

 木ネジ (M4×50mm) . . . . . 8本

 平ワッシャー . . . . . 8枚

- C. 取り扱いおよび設置説明書 . . . . . 1冊



上記設置部品以外での取り付けはおやめください。取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。

# 本機の特長

## Colors インテリアとして選ぶ “Stylist”

機能にデザインをプラスしたKIKUCHIのコンセプトスクリーン “スタイリスト” マスクとしても機能するフレームは、ミッドナイトブラック。

## Material

### ❖ WHITE MATTE ADVANCE

- ◎ ピークゲイン：0.85±5%
- ◎ 半値：85°

表面処理に新開発の「ウルトラマイクロ・シボ」を採用しています。優れた解像度と黒からハイライトまでのコントラスト、豊かな色階調を再現。きめ細かく立体感にあふれた映像、自然な色彩表現をハイレベルに調和しています。迷光を抑えた暗室ではクリアで奥ゆきのある高品質な映像を再現します。

### ❖ GRAY MATTE ADVANCE

- ◎ ピークゲイン：0.8±10%
- ◎ 半値：85°

光を拡散反射するマット系スクリーンは、プロジェクターからの映像光以外にカーテン越しの光や間接照明なども同時に反射して映像を劣化させます。グレイマットアドバンスは、その映像の劣化を軽減し、コントラストのあるナチュラルな映像を再現いたします。

### ❖ THEATER GRAY ADVANCE

- ◎ ピークゲイン：1.6±10%
- ◎ 半値：15°

ハイライトを維持しながら、浮き気味になる暗部の階調もしっかりと表現します。ナチュラルな肌色を基調とした自然な色再現を可能とし、黒の色再現との調和を確保しています。また、迷光の発生しやすいリビングルームでも、迷光が映像の光に混入することを最小限に抑えることが可能となり、ハイコントラストな映像を再現いたします。

### ❖ 150PROG ADVANCE

- ◎ ピークゲイン：1.5±10%
- ◎ 半値：30°

近年のプロジェクターの高輝度化とのバランスを重視し、ピークゲインを1.5に抑えています。また、拡散度をあげていますので、広い視覚エリアが確保されます。明るさとダイナミックさがバランスされ、臨場感があり黒階調も的確に再現された鮮明な映像が得られます。

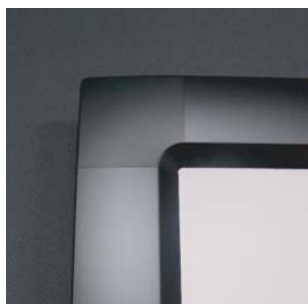
## Flexibility

### ■スタイリッシュなデザイン

シンプルでスマートなフレームデザインです。  
シアタールームやお洒落なオフィス空間を演出します。  
・軽量なアルミフレームを採用

フレームコーナーは、スマートな「スクエアコーナータイプ」（写真1）と、デザイン性に優れた「ラウンドコーナータイプ」（写真2）の2種類をご用意しています。

<写真1>



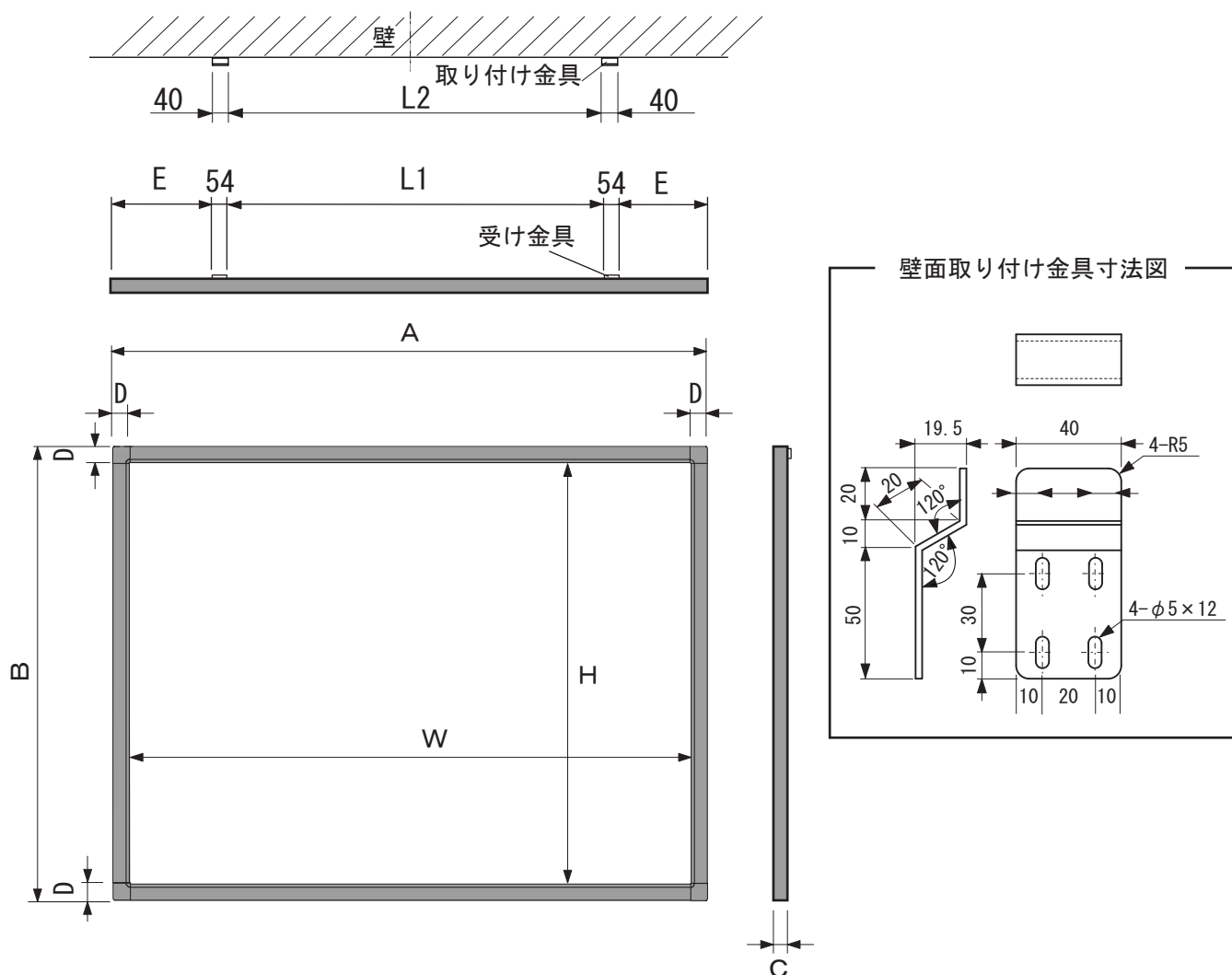
<写真2>



### ■優れた平面性

スクリーン生地の上／下／左／右方向にテンションをかけることにより、平面性を最大限に確保しています。画質を決める重要な要素、「解像度」「色再現性」「階調表現」「コントラスト」等に加え平面性を極めることで、さらなる高画質を可能としています。

# 仕様および寸法



スクリーン規格一覧表

## ■NTSCサイズ(4:3)

型番	スクリーンサイズ		外形寸法			受け金具間隔		取り付け金具間隔	マスク巾	重量
	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	L1(mm)	E(mm)	L2(mm)	D(mm)	(Kg)
SPA-80	1626	1219	1766	1359	40	924	367	938	70	11.5
SPA-100	2032	1524	2172	1664	40	1150	457	1163	70	14.0
SPA-120	2438	1829	2578	1969	40	1374	548	1387	70	16.6

## ■HDサイズ(16:9)

型番	スクリーンサイズ		外形寸法			受け金具間隔		取り付け金具間隔	マスク巾	重量
	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	L1(mm)	E(mm)	L2(mm)	D(mm)	(Kg)
SPA-80HD	1771	996	1911	1136	40	1003	400	1018	70	11.2
SPA-100HD	2214	1245	2354	1385	40	1250	498	1263	70	13.5
SPA-120HD	2656	1494	2795	1634	40	1493	597	1508	70	16.0

※受け金具間隔、取り付け金具間隔は推奨の位置です。任意で移動することができます。  
 ※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

# スクリーン取り付け方法



## 警告

- ◆スクリーンを設置する壁は、100kg以上支えられる強度が必要です。また石こうボードやパーチクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
- ◆補強が不足している面に取り付けると脱落する恐れがあります。



## 注意

- ◆壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・補強下地無しの施工

## 合板の壁に設置する場合



注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

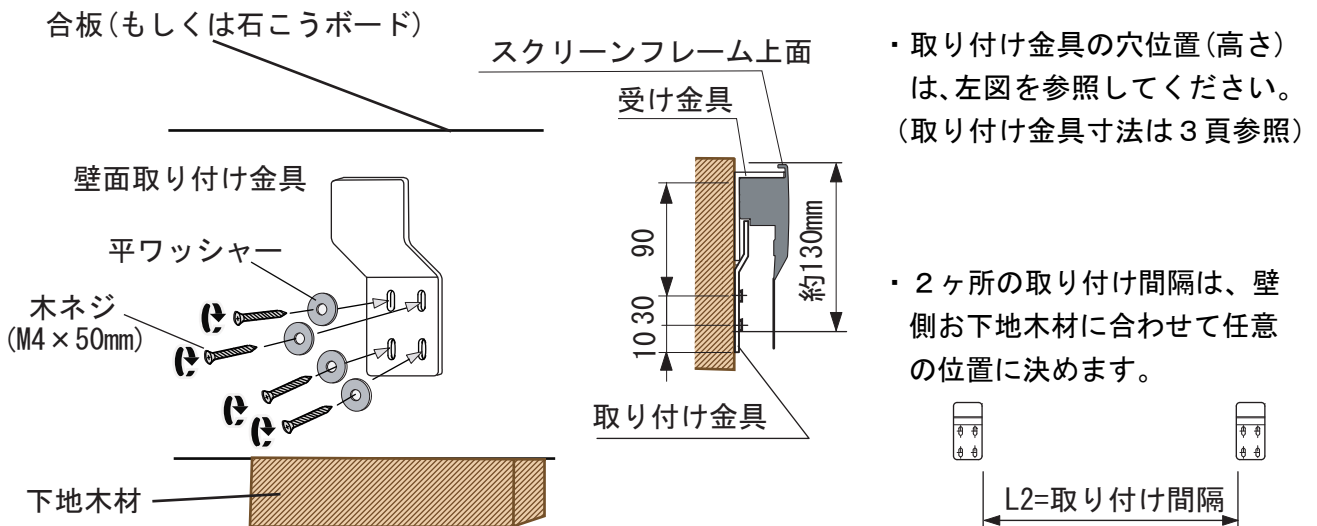
### ■取り付け場所の確認

本機は壁に取り付けすることが可能ですがあらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器<sup>(※)</sup>などで確認してください。

(※) 推奨機器：松下電工(株)「壁うらセンサー」等

## 1. 壁面取り付け金具を付属の木ネジを使用して取り付けする

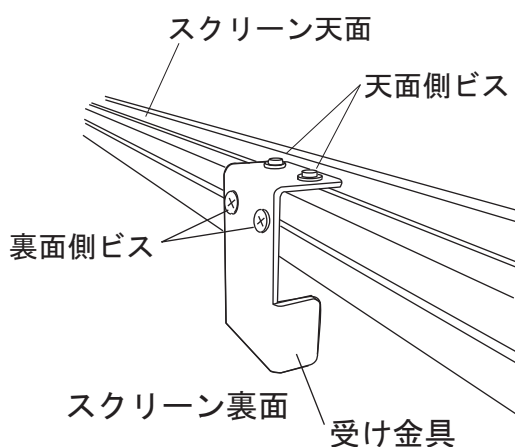
- 1-1 壁面取り付け金具を木ネジ(M4×50mm)と平ワッシャーで金具の取り付け穴を使って+ドライバーで取り付けしてください。



注意

壁取り付け金具は、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。壁取り付け金具の平行が取れていないとスクリーンを取り付けできない場合があります。

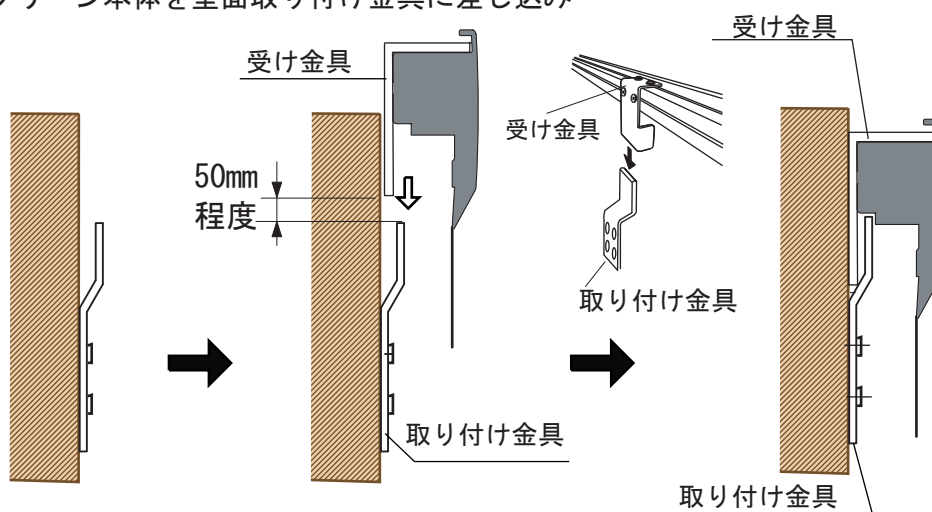
- 1-2 スクリーン本体裏側の上部に取り付けられている受け金具の位置を、1-1で決定した取り付け間隔（L2）に14mmマイナスした寸法に調整します。



受け金具の天面側と裏面側に取り付けられているビスをゆるめて、受け金具の間隔を、壁面取り付け金具の間隔より14mmマイナスの寸法に調整し、その後ビスをしっかりと締め付けします。



- 1-3 スクリーン本体を壁面取り付け金具に差し込み



上部スクリーンフレームを壁面取り付け金具より50mm程度高い位置に合わせます。壁面へ押し付けながらそのままゆっくりと下へおろします。

壁面取り付け金具が受け金具にしっかりと収納された事を確認したら手をはなしてください。



注意

- 壁取り付け金具にスクリーン本体を取り付けする時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- 壁取り付け金具への差し込みは確実に行ってください。不十分な状態で取り付けが完了した場合は、後日スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

# 注意

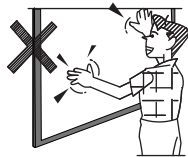
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

## 使用上のご注意

- スクリーン面に手をふれないでください。



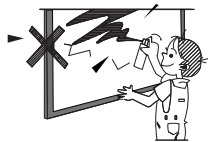
禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



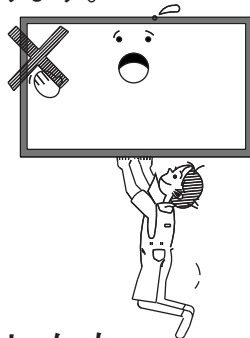
禁止



- スクリーンやフレームにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



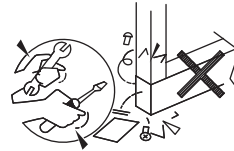
警告



- フレームは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



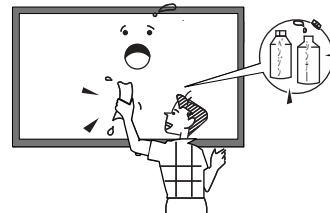
分解禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



禁止

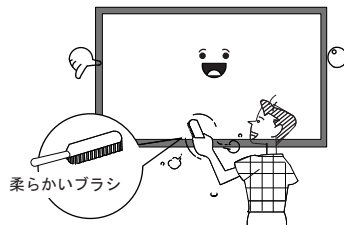


## お手入れのしかた

- フレームの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

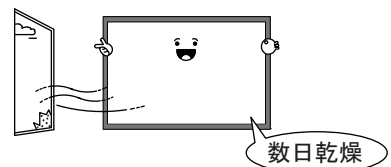


## 置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一ニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。





株式会社 キクチ科学研究所

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35  
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24  
Y'sピアアクセス心斎橋7F  
TEL. 06-6538-6070(代) FAX. 06-6537-2321

戸田MLC 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6  
TEL. 048-422-3821(代) FAX. 048-422-3844

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>  
KIKUCHI SCIENCE.LAB 2008.7 SPA NW